

解答は別紙の解答欄に記入しなさい。

I 次の文章（イ～ハ）を読んで、文中の空欄（A～O）に当てはまる語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、また語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

（イ） 15世紀、関東では將軍足利（ A ）が関東管領上杉（ B ）の支援を受けて鎌倉公方（ C ）を滅ぼした。その後、鎌倉公方は下総の（ D ）の古河公方と伊豆の（ E ）の堀越公方に分裂した。同様に、関東管領上杉氏も、山内と扇谷の2家に分裂して抗争を続けた。

1 成氏    2 重房    3 禅秀    4 憲実    5 政知    6 持氏    7 義勝    8 義教    9 義政

（ロ） 伊勢（ F ）は堀越公方を滅ぼして伊豆を制圧し、のちに小田原を拠点とした。彼の孫（ G ）は関東管領山内（ H ）を越後に追放した。長尾氏は越後の（ I ）であったが、長尾景虎は関東管領上杉氏を継いで上杉姓を名乗った。（ J ）出身の武田氏は信玄の時に甲斐から信濃にまで領土を拡大しており、北信濃で景虎と戦っている。

1 氏綱    2 氏康    3 宗瑞    4 憲忠    5 憲政    6 国人    7 守護    8 守護代    9 評定衆

（ハ） 戦国大名は領内に楽市や楽座を設けて商業を保護したり、領内に通用する分国法と呼ばれる独自の法律を作成したりした。甲斐の『甲州法度之次第』のほか、主な分国法としては、（ K ）の『塵芥集』、駿河・遠江の『今川仮名目録』・『同追加』、（ L ）の『六角氏式目』、（ M ）の『大内氏掟書』、（ N ）の『相良氏法度』、そして（ O ）の『長宗我部氏掟書』がある。

1 越前    2 近江    3 薩摩    4 土佐    5 肥後    6 肥前    7 豊後    8 美濃    9 陸奥

Ⅱ 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

1861年11月、アメリカ大統領に当選したばかりのアブラハム・リンカーンから、日本の「大君殿下」に宛てて一通の書簡が送られてきた。その内容は、当時「ミニストル」として「殿下」の下で職務を遂行していたタウンゼント・ハリスがアメリカ本国への帰国を希望したのでそれを許したと、また将来にわたる両国の友好関係の発展を希望することなどが記され、全体として礼を尽くした書き方で貫徹されている。ハリスが帰国を希望した背景として、この年大統領が民主党のブキャナンから共和党のリンカーンに代わったというアメリカの国内事情があった。民主党員だったハリスは、政権交代に合わせて帰国願を出したのである。そして翌年、彼は日本を後にした。

ハリスは（ A ）を日本に押しつけたという、強圧的なイメージで語られることが多い。だが彼は、日本に輸入関税のメリットを教えたという一面も持っていた。すなわち、貿易を開始するに当たって、日本側では、自国商品の海外流出を抑制するために輸出関税をかけるという発想はあっても、外国商品に輸入関税をかけることによって財政収入にするとともに、外国商品の日本国内への流入を抑制し、国内産業を保護するという発想は乏しかったのである。（ A ）を含む安政の五か国条約において、関税については「協定関税」とすると定められたものの、当初の輸入関税は基本的に従価（ B ）と高率で、日本にとって極めて有利であった。そのこともあって、貿易開始から1865年にかけて日本の輸出超過、すなわち貿易黒字が続いた。その間、輸出品の中では（ C ）が金額において圧倒的な比重を占めて1位で、2位には（ D ）が入ることが多かったが、両者の差は大きかった。一方、輸入品の上位は（ E ）が占めた。しかし貿易開始以来連年の日本の貿易黒字と日本市場への参入がはかどらないことに不満を持っていた諸外国は、下関事件償金支払い問題も絡めて日本に輸入税軽減を要求し、1866年、「改税約書」において輸入税は一律（ F ）の従量税とされた。この後、（ G ）期に至るまで、わずかな例外の年を除いて基本的に日本の貿易赤字が続くことになる。

ところで、リンカーンの大統領就任は折からのアメリカ国内の南北対立の激化をもたらし、就任の年から南北戦争に突入する。このことは日本の貿易にも少なからぬ影響を与えた。列強の中で真っ先に日本との間で貿易に関する条約を結ぶことに成功したことにも見られるように、当初は日本との貿易を主導したアメリカであったが、国内対立は貿易に力を注げない状況を生み、このころ日本との貿易において貿易額でもっとも大きな比重を占めた国は（ H ）であった。貿易は（ I ）に限定され、開港場の周辺（ J ）四方までは外国人は遊歩することはできても、商取引はできなかった。これは、外国商人が国内で自由に商取引をすることを認めた同時代の中国とは好対照である。

問1 文中の空欄（A～J）に該当するもっとも適当な語句をそれぞれの語群の中から選び、数字を解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

- A 1 日米和親条約 2 日米修好通商条約 3 日米通商航海条約  
4 日米紳士協約 5 日米行政協定
- B 1 10% 2 20% 3 30% 4 40% 5 50%
- C 1 生糸 2 金 3 米 4 茶 5 綿糸
- D 1 生糸 2 金 3 米 4 茶 5 綿糸
- E 1 織物類 2 機械類 3 金属類 4 食品類 5 武器・艦船類
- F 1 1% 2 3% 3 5% 4 7% 5 10%
- G 1 西南戦争にともなうインフレ 2 松方デフレ 3 第一次企業勃興  
4 日清戦後恐慌 5 第一次世界大戦にともなう好況
- H 1 イギリス 2 オランダ 3 中国 4 フランス 5 ロシア
- I 1 船上 2 波止場 3 税関 4 居留地 5 租界
- J 1 2里 2 5里 3 10里 4 15里 5 20里

問2 次のK～Tの設問の答としてもっとも適当なものをそれぞれの語群の中から選び、数字を解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

K 下線部アについて、「大君殿下」とは誰のことか。

- 1 孝明天皇 2 徳川家定 3 徳川家茂 4 徳川慶喜 5 明治天皇

L 下線部イについて、「ミニストル」は日本語で何というか。

- 1 司令官 2 大使 3 公使 4 副使 5 領事

M 下線部ウについて、ハリスが「ミニストル」として職務を遂行していた場所は、のちに福沢諭吉の墓所となった場所でもある。それはどこか。

- 1 寛永寺 2 玉泉寺 3 護国寺 4 善福寺 5 増上寺

N 下線部エについて、「五か国」のうちアメリカ以外の国の組み合わせとして正しいものはどれか。

- 1 オランダ・ロシア・イギリス・ドイツ  
2 オランダ・ロシア・ドイツ・フランス  
3 オランダ・ドイツ・イギリス・フランス  
4 ドイツ・ロシア・イギリス・フランス  
5 オランダ・ロシア・イギリス・フランス

O 下線部オについて、日本の関税自主権が完全に回復したのは何年か。

- 1 1894年 2 1897年 3 1899年 4 1902年 5 1911年

P 同じく下線部オに関連して、日本の関税自主権の完全回復が果たされた時の首相は誰か。

- 1 伊藤博文 2 桂太郎 3 西園寺公望 4 原敬 5 山本権兵衛

Q 下線部カについて、横浜で貿易が開始されたのは何年か。

- 1 1853年      2 1854年      3 1858年      4 1859年      5 1861年

R 同じく下線部カに関連して、横浜開港と同じ年に貿易が行われていた港はどことどこか。次の中から正しい組み合わせを選びなさい。

- 1 下田・兵庫    2 兵庫・新潟    3 箱館・長崎    4 兵庫・長崎    5 箱館・新潟

S 下線部キについて、これを結ばなかった国は次のうちどれか。

- 1 アメリカ      2 イギリス      3 オランダ      4 フランス      5 ロシア

T 次の中から、ハリスが日本に滞在している間に起きた出来事ではないものを選びなさい。

- 1 ロシアとの間で、択捉・得撫両島間を国境と定め、樺太を両国雑居の地にする条約を結んだ。
- 2 外国奉行新見正興らを乗せた船が条約批准のためアメリカへ出発し、日本初の太平洋横断を果たした。
- 3 越前藩士橋本左内・長州藩士吉田松陰らが、将軍継嗣問題に口出ししたり条約の違勅調印に反対したとして処刑された。
- 4 大老井伊直弼が水戸藩を脱藩した浪士らにより暗殺された。
- 5 貿易による流通機構の混乱に対処するため、雑穀・水油など五品を江戸へ廻送する法令を発した。

Ⅲ 次の文章の空欄（A～E）に当てはまる語句を記入しなさい。

室町時代には、禅文化が幕府の庇護を受けて都で興隆した。当時の禅僧たちは詩文や書画に秀で、漢詩集などを出版しており、それらは（ A ）と呼ばれる。これと呼応して、美術の面では水墨画が盛んに制作された。なかでも画僧（ B ）は当初、都の五山名刹第二位の（ C ）に身を寄せ、さらに入明ののち帰朝してからは、和漢の風景や人物を、自らの署名を入れた水墨画として描きのこした。なお、この（ C ）にはのちに狩野派の絵師たちも集ったが、さらに下って織豊期になると、同派から絢爛豪華な作風で知られる（ D ）が登場した。現存する彼の代表作品には、織田信長が上杉謙信に贈ったとされる（ E ）がある。

IV 次の史料（イ～ニ）を読んで、設問に答えなさい。

(イ) 冬十月に、( 1 ) の僧 ( 2 ) 来けり。仍りて暦の本及び天文地理の書、并て遁甲方術の書を貢る。……

(ロ) ……詔して曰はく、「磯城嶋宮御宇天皇の十三年の中に、( 1 ) の明王、仏法を我が大倭に  
伝へ奉る。是の時に、群臣、俱に伝へまく欲せず。而るを蘇我( 3 ) 宿禰、独り其の法を信  
けたり。……小墾田宮御宇天皇の世に、( 4 ) 宿禰、天皇の奉<sup>おほみため</sup>為に、文六の繡像・文六の  
銅像を造る。……」とのたまふ。

(ハ) 維、清原宮に馭宇天皇の即位八年庚辰の歳、建子の月、<sup>b</sup>中宮不忿なるを以て、此の<sup>c</sup>伽藍を創らむ。而るに、<sup>ほ きん</sup>鋪金未だ遂ずして、龍駕騰仙せり。太上天皇、前緒に遵ひ奉りて、遂に斯の業を成す。……

(二) 皇帝、( 5 ) 宮に御しまして、盧舎那の仏像を造り奉らむが為に始めて寺の地を開きたまふ。是に ( 6 ) 法師、弟子等を率ゐて衆庶を勧め誘く。

(原漢文，一部修正)

(注) 建子の月：陰暦の十一月　不愈：病氣　龍駕騰仙：貴人の死去

問1 史料の空欄(1～6)に該当する語句を記しなさい。

問2 下線部 a の像はどの寺のものか，寺名を記しなさい。

問3 下線部bは誰か、天皇名で記しなさい。

問4 下線部cの寺名を記しなさい。

問5 史料(二)と同じ年に国家の新しい土地政策が出されている。どのような土地政策であったか、名称、内容、その影響を80字以内でまとめなさい。

(下書き用)

[illegible]

V 次の史料（A～D）を読んで、設問に答えなさい。

- (A) 此年の冬前代の御遺志をつがれ、長崎の事御沙汰有べき由議定有けり、此御沙汰の事起りしは、前代御世を嗣れし初より、（イ）の料とすべき銅の数足らずして、事ゆかず、地下人等産業をうしなひて、飢餓に及べき由、長崎奉行所より注進す。
- (B) 去年の春、我ひとり身を出して、封事を参らす事、第三度に至りぬる時は、既に御不例の最中なりしかど、御志を決し給ひ、銀造る事を停められ、（ロ）の職奪れたりけり。其後はいかにもして、金銀の製古にかへされんことを思召はかられ、隠れさせ給ふ御きは迄も、此事に及ばれし……
- (C) 前代の御時に制せられし、生類あはれみといふ事とゞめられし由を承りぬ。……御代に至て、その禁除かれん事もしかるべからず。たゞいかにもして、御遺誠のごとくならむ事を思召されしかば、まづ（ハ）をめして、思召よられし所を仰下されしに、此朝臣ももとより此事よしと思ふべきにもあらず。
- (D) 復号の御事こそ、第一の難事なりつれ。これは、両国の好修められし初よりして、彼国の書には、日本（ニ）とするしまいらす。……しかるを、寛永の比に至て、日本国大君とするしまいらすべき由を、仰つかはされしより、此事そのゝちの例とはなりたり。

（原文を一部修正）

問1 史料（A～D）の下線部が示す出来事の古い順に、記号を並べなさい。

問2 空欄（イ）について、法令の由来ともなった漢字四文字を記しなさい。

問3 空欄（ロ）・（ハ）に該当する人物の氏名を記しなさい。

問4 空欄（ニ）について、ふさわしい語句を記しなさい。

問5 史料（D）の波線部「彼国」の国名を記しなさい。

問6 史料（A）・（B）を読んで、筆者が行った貿易および貨幣に関する政策の内容を、120字以内でまとめなさい。